

授業科目名 ( 英文名 )	Writing 1 英語W 1 ( L 5 )	科目区分 対象学生	
単位数	1.00	開講年次・ 学期	1年次・前期
担当教員	高橋 綾子	所属	環境人間学部
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	1) 日常的な社会活動において必要となる英語文を書くことができる 2) 基礎的な英文を書くために語彙や文法を習得している 3) 基礎的な英文の文章構成法を理解している		
講義内容・授業計画	メールや手紙などの形式に慣れ、センテンスを正確に書く実践練習を行い、適切な語彙を身につけ、英文を書くスキルを向上させる。与えられた課題を着実にこなすことが求められる。 <p>1.講義の進め方などを説明する。Unit 1 第一のパターン：意見サポート型 結論・理由  2.Unit 2 第1のパターン：社会事象の説明  3.Unit 3 第1のパターン：結果・原因  4.Unit 4 第2のパターン：パラグラフ型 複数の意見  5.Unit 5 第2のパターン：パラグラフ型 比較  6.Unit 6 第2のパターン：パラグラフ型 賛成・反対  7.Unit 7 第2のパターン：パラグラフ型 分類  8.Unit 8 第3のパターン：直線型 歴史  9.Unit 9 第3のパターン：直線型 過程  10.Unit 10 第3のパターン：直線型 原因 = 結果  11.Unit 11 第4のパターン：異質パラグラフ型 言葉の定義  12.Unit 12 第4のパターン：異質パラグラフ型 調査  13.Unit 13 第4のパターン：異質パラグラフ型 新製品  14.Unit 14 第4のパターン：異質パラグラフ型 グラフ  15. まとめと評価</p>		
テキスト	Skills for Better Writing Basic ( 構造で書く英文エッセイ 初級編 ) ( 南雲堂 ) I SBN978-4-523-17911-5		
参考文献			
成績評価の基準・方法	日常的な社会活動において必要となる英語文を書くことが出来るものに単位を授与する。 講義目的・到達目標に記載する能力の到達度に応じて、S から C まで成績を与える。 レポート・小テストなどによる平常点40%、試験60%を基準として、受講態度を含めて総合的に評価する。		
履修上の注意・履修要件	・英和、和英辞書を持参すること ・当授業は、原則全ての授業を対面で実施する予定ですが、履修者人数によっては、新型コロナウイルス感染症対策として、履修者を複数の教室に分けて教室間をオンラインで繋ぐ方法や、対面授業と自宅でのオンライン授業を隔週実施する方法とすることがあり、自宅等でオンライン授業の受講を視聴できる通信環境(PC・タブレット等の端末やWi-Fi環境)が必要となる場合があります。最終的な授業方法は履修登録後に決定・連絡します。		
実践的教育	該当しない		
備考			